

# 災害対策マニュアル

児童発達支援事業所 / 放課後等デイサービス



KIDS BASE さんかく

## 目次

1. 組織編成.....	3
○消防隊編成表.....	3
2. 関係機関との連絡体制.....	4
○災害時対応のフローチャート.....	4
3. 事業所内避難路.....	5
4. 避難所・避難場所マップ.....	6
5. 備蓄物資と非常持出品.....	7
○備蓄物資一覧表.....	7
○非常持ち出し品.....	8
6. 避難対応.....	9
○療育時の対応.....	9
○送迎・外出時の対応.....	10
7. 火災時マニュアル.....	11
8. 保護者への引き渡し.....	13
9. 緊急時の通信手段.....	14
10. 災害時における“こころ”のケア.....	15
11. 利用児の心のケアについて.....	16

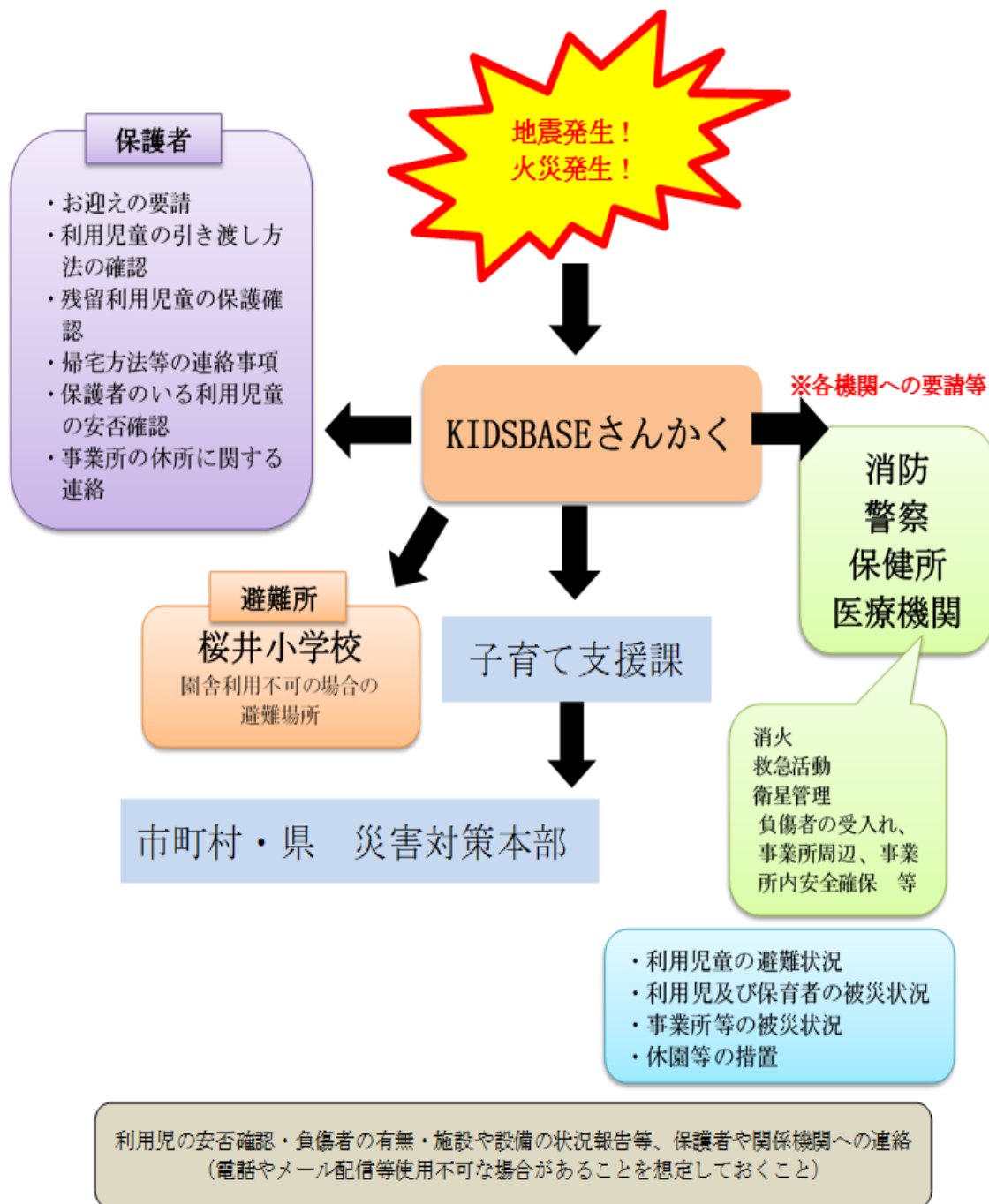
## 1. 組織編成

### ○消防隊編成表

係	児発	放デイ	主な対応
総括本部	坂本輝子	坂本輝子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害状況を把握し、避難の実施方法を決定</li> <li>・避難経路の安全性を確認後、避難の指示</li> <li>・二次災害等の情報収集</li> <li>・関係機関への連絡</li> <li>・出火防止措置 電気のブレーカーを切る 等</li> <li>・初期消火活動</li> </ul>
避難誘導 安否確認	安田和喜	安田和喜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全を確保</li> <li>・利用者への的確な指示 (おかしも) お・・・おさない か・・・かけない し・・・しゃべらない も・・・もどらない</li> <li>・各クラスの人員を確保し、負傷の有無・程度等を本部に報告</li> <li>・非常持出品（出席簿・伝達表・クラス所有救急箱）</li> <li>・避難場所への誘導</li> </ul>
消火 通報 連絡 救出 救護	当日サブ	当日サブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育室・トイレの残留利用児童の確保</li> <li>・負傷者の救出・応急手当</li> <li>・医療機関への連絡</li> <li>・非常持出（引き渡しカード・緊急連絡先ファイル・救急箱）</li> </ul>

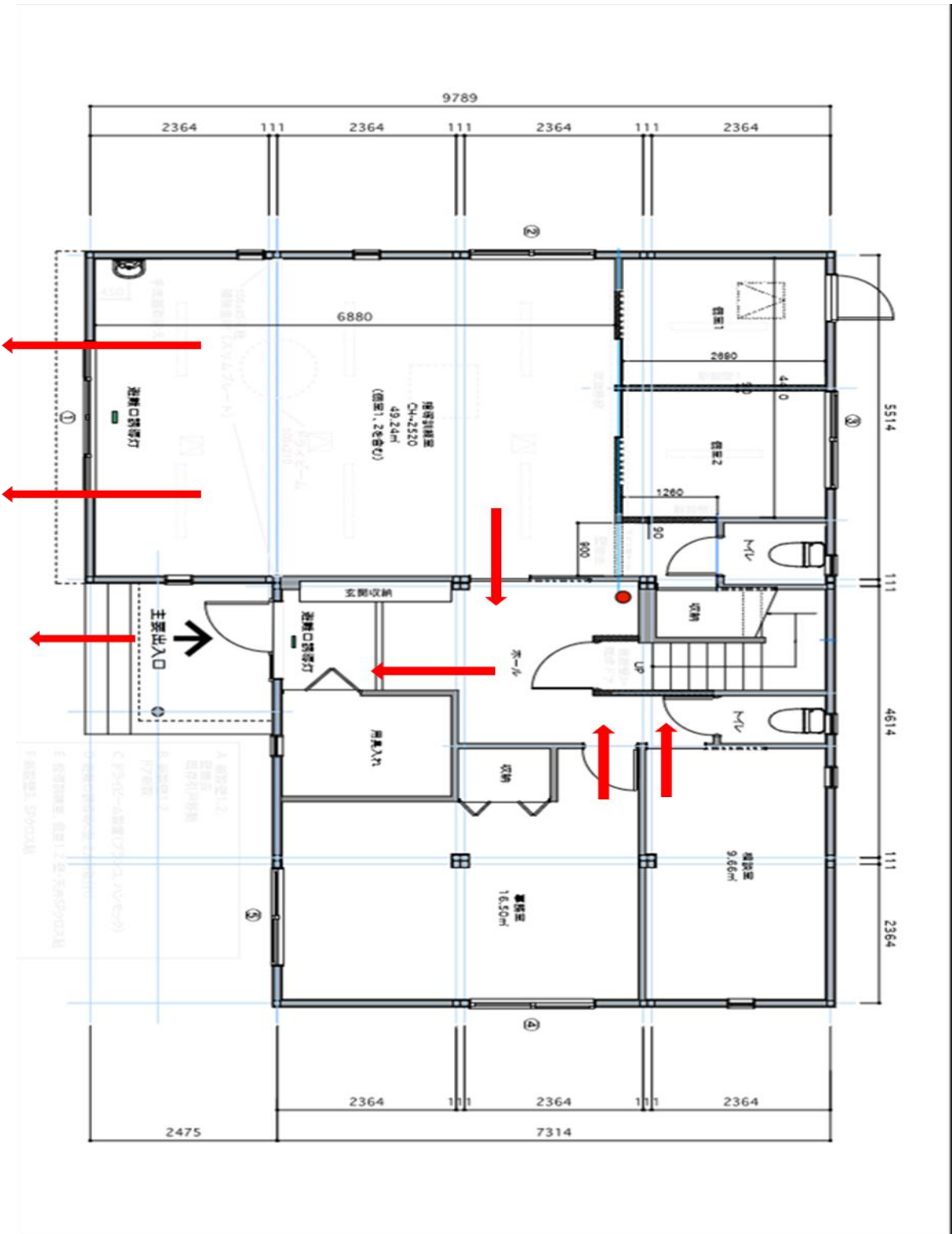
## 2.関係機関との連絡体制

○災害時対応のフローチャート

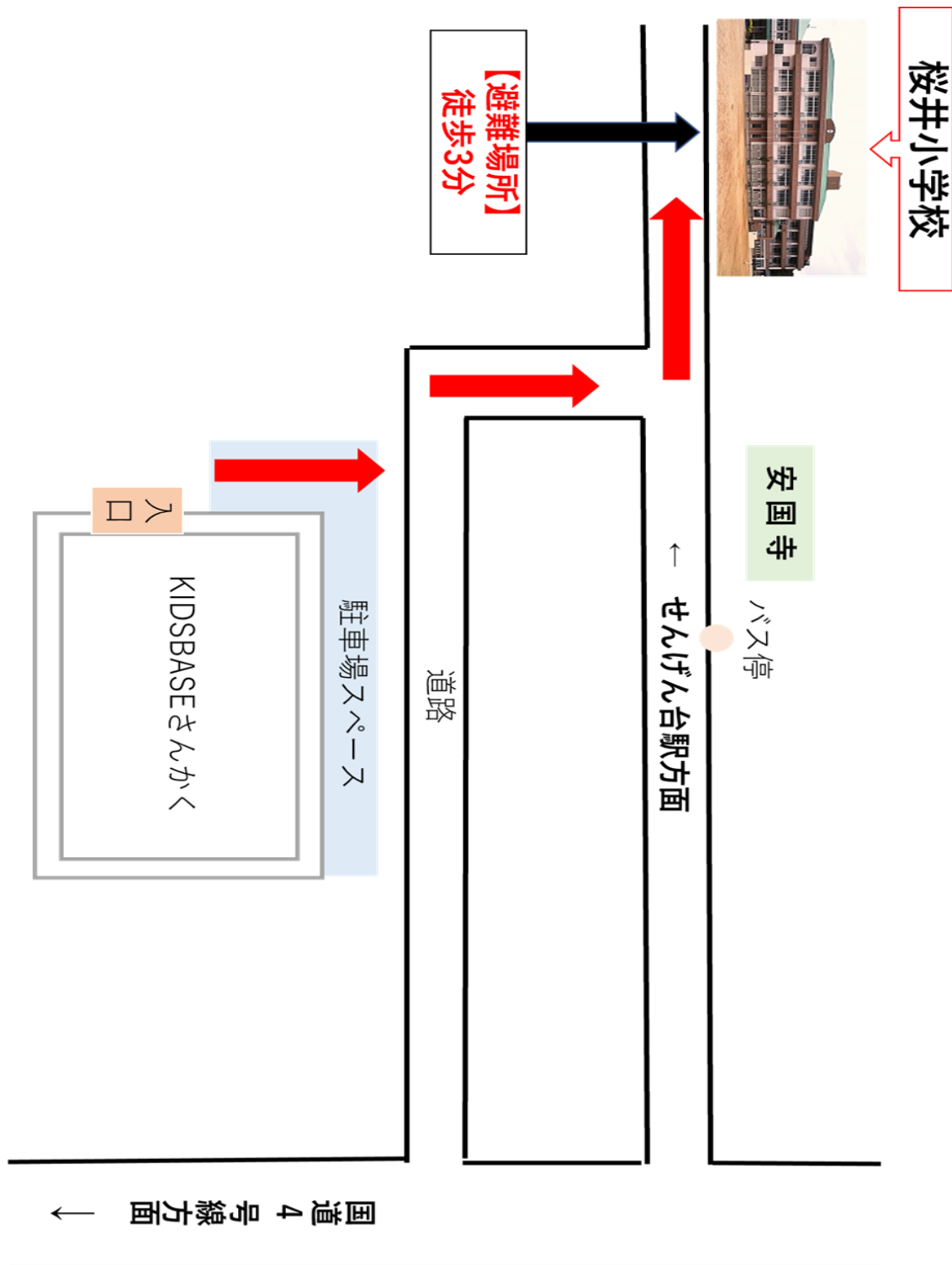


### 3. 事業所内避難路

- 児童発達支援 放課後等デイサービス



4. 避難所・避難場所マップ



## 5. 備蓄物資と非常持出品



### ○備蓄物資一覧表

区分	品名
食料品	ミネラルウォーター 缶詰、乾パンあめ、ビスケット 保存期間が長く火を通さなくても食べられるもの等
生活用品	水、毛布、ビニールシート ビニール袋卓上コンロ（ボンベ） スプーン、フォーク、缶切り、ナイフ、ラップおまる、紙おむつ、トイレットペーパー、生理用品、用紙、ガムテープ、雨具、現金（小銭も）、マッチ、ライター等
避難用品	防災頭巾（ヘルメット）、軍手、ロープ、ビニール袋、懐中電灯、ラジオ、乾電池、関係機関連絡リスト等
救急医療品	包帯、ガーゼ、止血帯、絆創膏、三角巾 湿布、タオル、消毒薬、体温計、カット綿、ゴム手袋等



○非常持ち出し品



児発担当	放デイ	事務職員
出席簿	出席簿	緊急カード
伝達表・出席簿	伝達表・出席簿	引き渡しカード
防災マップ	防災マップ	防災マップ
哺乳瓶	着替え	筆記用具
ミネラルウォーター	おしりふき	ティッシュ・ウェットティッシュ
着替え・紙オムツ	ティッシュ・ウェットティッシュ	ビニール袋
おしりふき	ビニール袋	タオル
ティッシュ・ウェットティッシュ	タオル	現金
ビニール袋	筆記用具	救急箱
タオル	笛	懐中電灯
筆記用具	懐中電灯	携帯電話・充電器
笛	防災頭巾	笛
懐中電灯	時計	ラジオ
防災頭巾	等	関係機関連絡先一覧
等		等

非常持ち出し品（一次持ち出し品）

**貴重品**

緊急IDカード、印鑑、現金、健康保険証、身分証明書、母子健康手帳、銀行の口座番号・生命保険契約番号など

※現物を持ち出せなかった場合に備えて、コピーを入れておく

**便利品など**

防災ずきんまたはヘルメット、懐中電灯、予備の電池、笛やブザー（音を出して居場所を知らせるもの）、万能ナイフ、使い捨てカイロ、マスク、ビニール袋、アルミ製保温シート、毛布、スリッパ、軍手または革製手袋、マッチライター、給水袋、雨具、レインコート

**情報収集用品**

携帯ラジオ、予備の電池、家族の写真（はくれた時の確認用）、小銭（公衆電話用に10円玉・100円玉）、家族との災害時の取り決めメモ、携帯電話、非常用携帯電話充電器、筆記用具

**食料など**

非常食、飲料水

**清潔・健康のためのもの**

救急セット、タオル、常備薬、お薬手帳、ティッシュペーパー、トイレトペーパー、着替え、下着

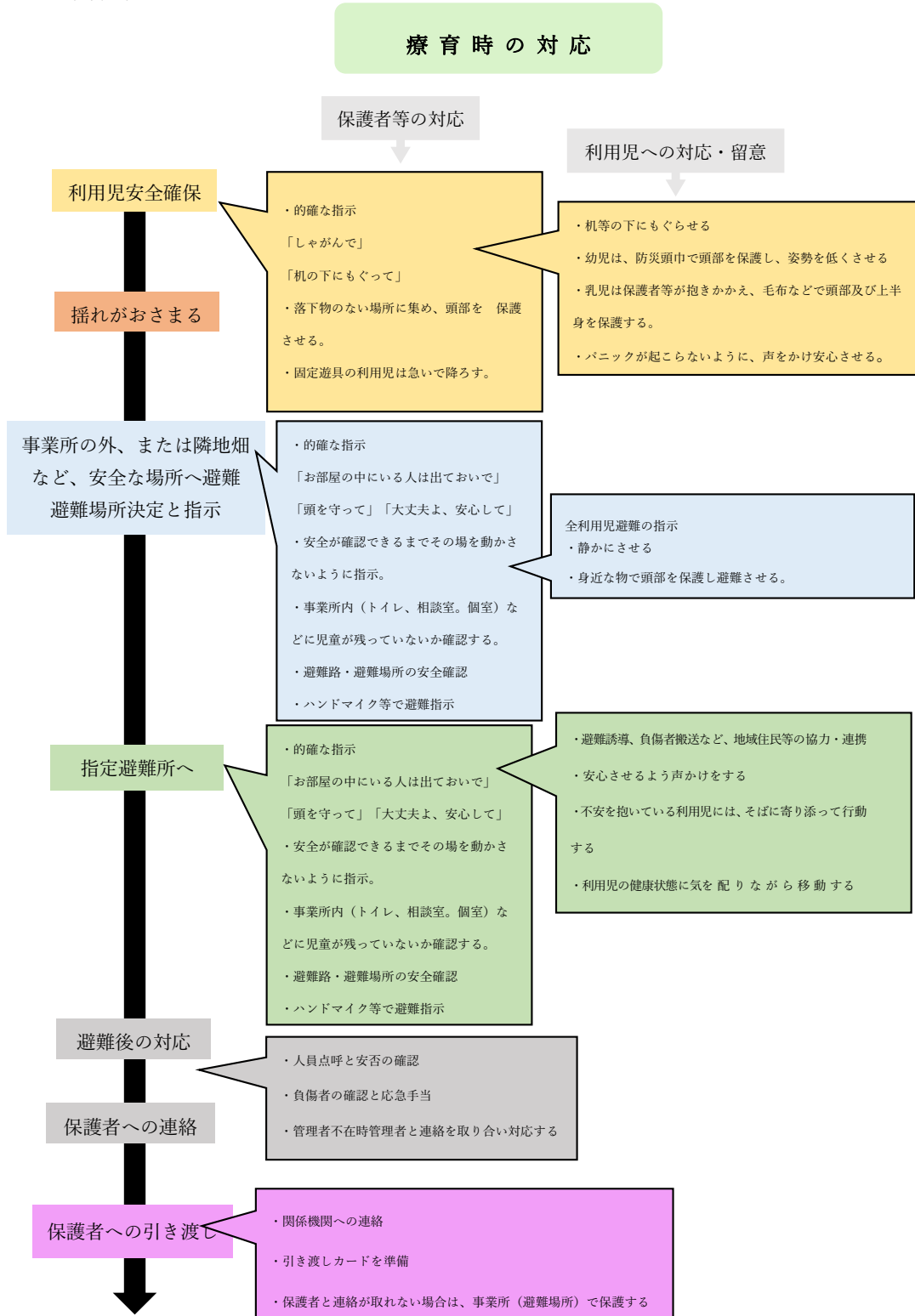
**その他**

紙おむつ（乳幼児用・高齢者用など）、生理用品、予備の眼鏡、杖など自分の生活に欠かせないもの

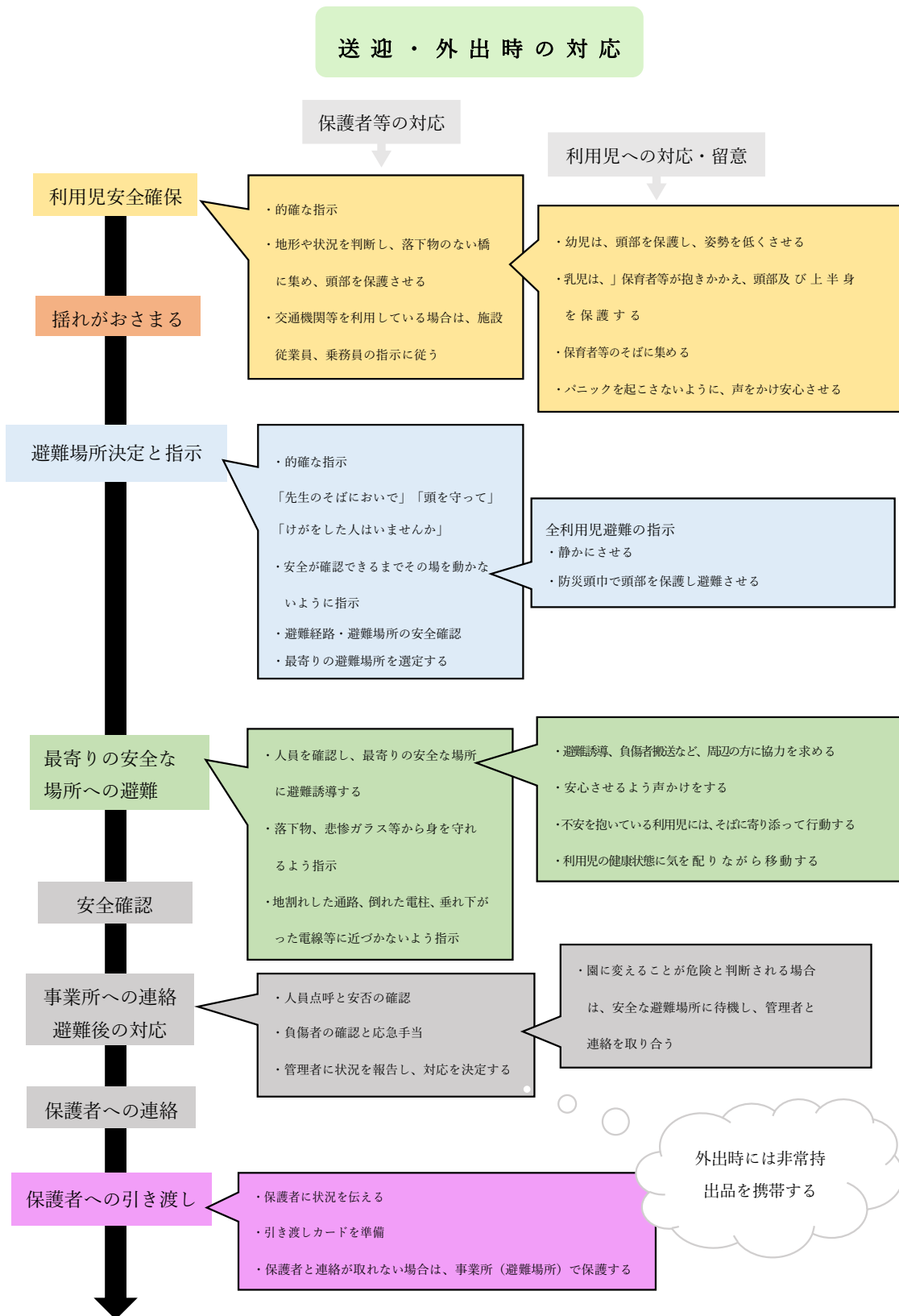


## 6. 避難対応

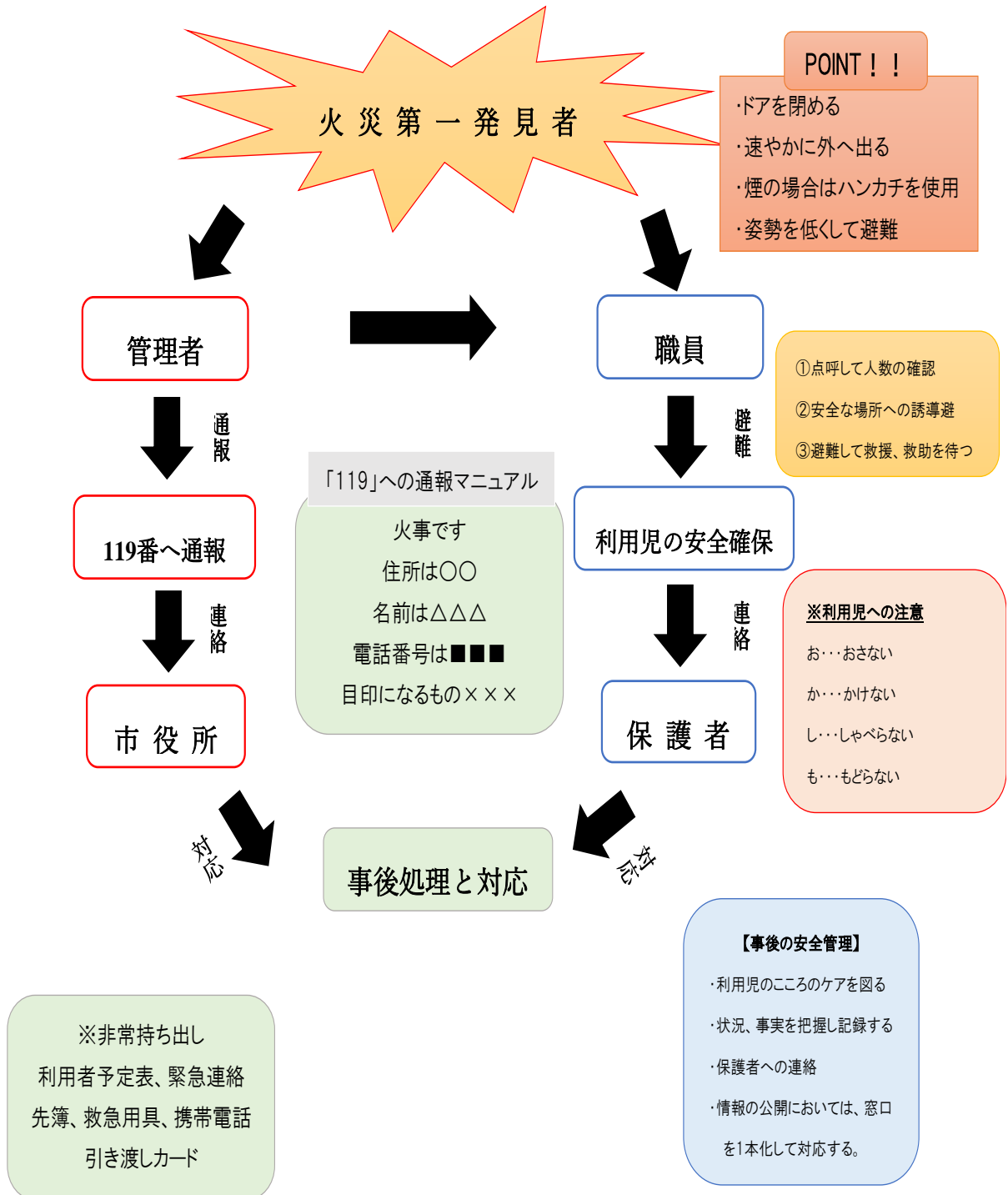
### ○療育時の対応

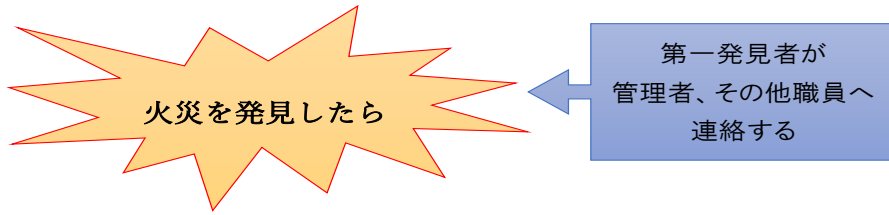


○送迎・外出時の対応



## 7. 火災時マニュアル





**火災発生時の対応**

- ①利用児の安全確保
  - ・利用児の点呼をし、人数を確認する。
  - ・利用児を安全な場所へ誘導し避難する
- ②119番へ通報
  - ・けが人が出た場合は、救急車の手配
- ③市役所へ連絡
  - ・救援要請をする。

「119」への通報マニュアル

火事です  
住所は〇〇  
名前は△△△  
電話番号は■■■■  
目印になるもの×××

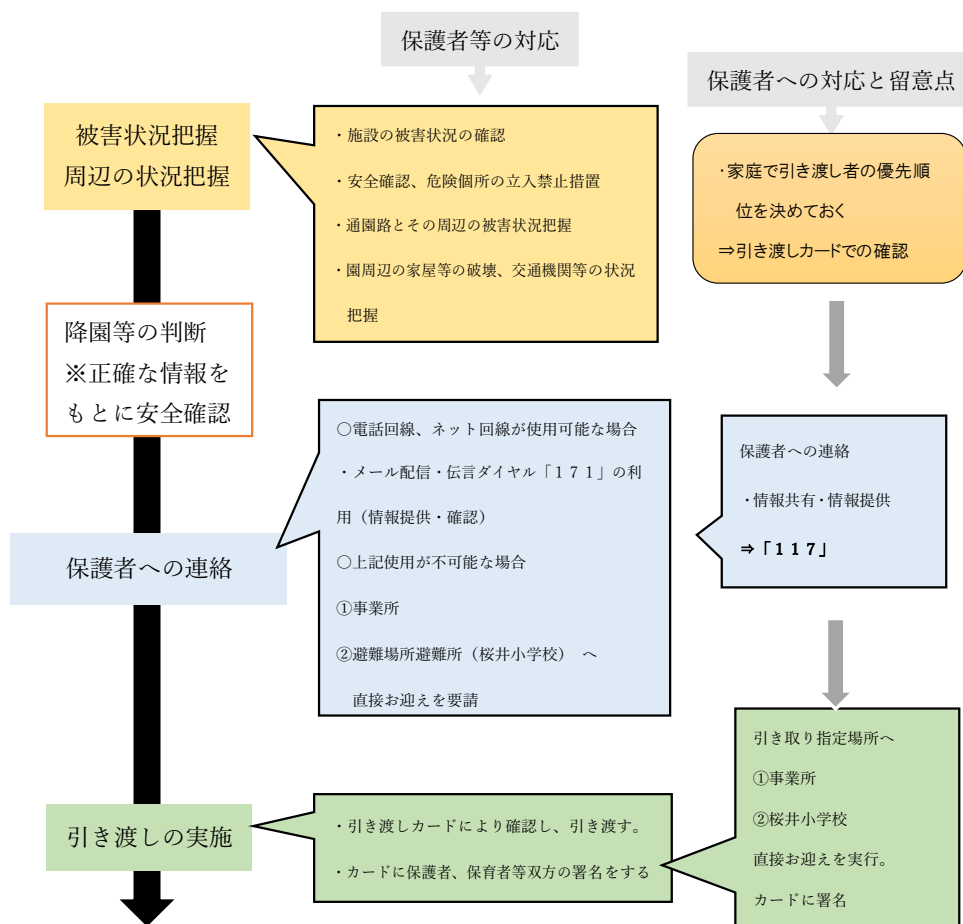
**関係先へ連絡**

- ①保護者へ連絡する
  - ・保護者への緊急連絡先、または送迎車キャッチなどで知らせる。
  - ・引き渡しカードを使用して、確実に引き渡す。
  - ・連絡取れない場合、お迎え時間が不明な場合等、避難場所での待機を実施する。

**事後の対応と処理**

- ①事後の安全確認をする
  - ②状況、事実把握し記録する
  - ③利用児のこころのケアを図る
  - ④保護者への状況説明を実施
- ※情報開示の際には、窓口は管理者が行う

## 8. 保護者への引き渡し



### 災害伝言ダイヤル等の利用方法

(1) 利用児は、園庭又は避難場所に集合させる。

保護者は引取り場所で指定した箇所待機(利用児の人数確認、安否確認等終了まで)

(2) ハンドマイク等の指示で引取り開始

- ・引き渡しカードを元に引取り者を確認し、利用児を引き渡す。弟妹関係は、低年齢の利用児から引き渡す
- ・負傷した利用児については、状況を保護者に説明引き渡す

**\*状況説明は丁寧にし、非常事態については管理者が対応をする**

(3) 保護者への連絡が取れない場合、利用児を引き続き保護する。その場合、利用児の心のケアを心がける

## 9. 緊急時の通信手段

緊急時の場合には伝言ダイヤル「171」での伝言を実施致します。

※ 災害時はすぐに伝言ダイヤルの使用も不可能な場合がありますので、その場合には事業所までいらして頂くことを優先に実施してもらいます。

### 災害伝言ダイヤル「117」

#### 【伝言の再生方法】

「171」にダイヤルする。



ガイダンスが流れる



②を押す



ガイダンスが流れる



事業所の電話番号を市外局番からプッシュする  
(KIDSBASEさんかく)048-971-5025



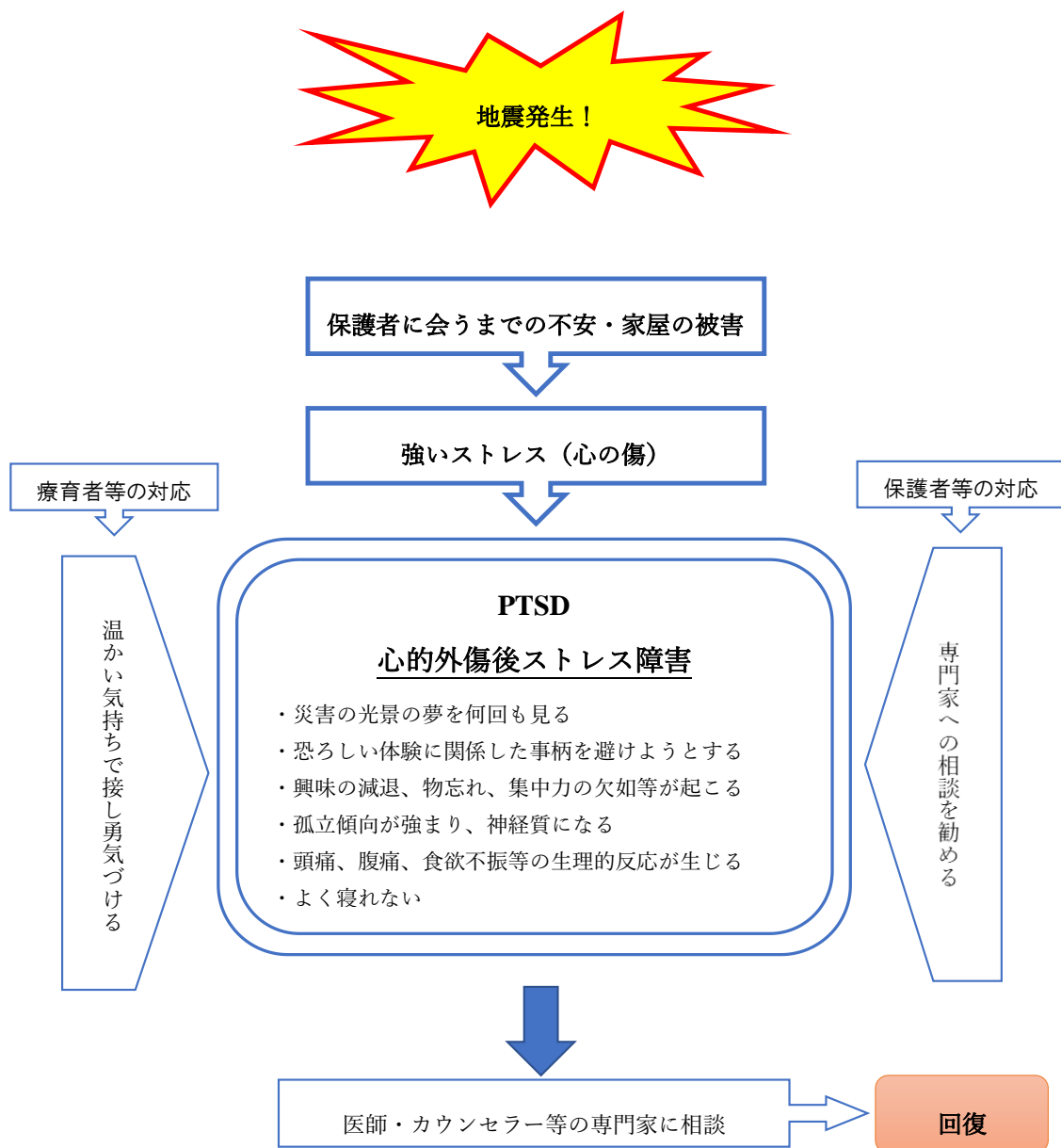
メッセージを再生する

## 10. 災害時における“こころ”のケア

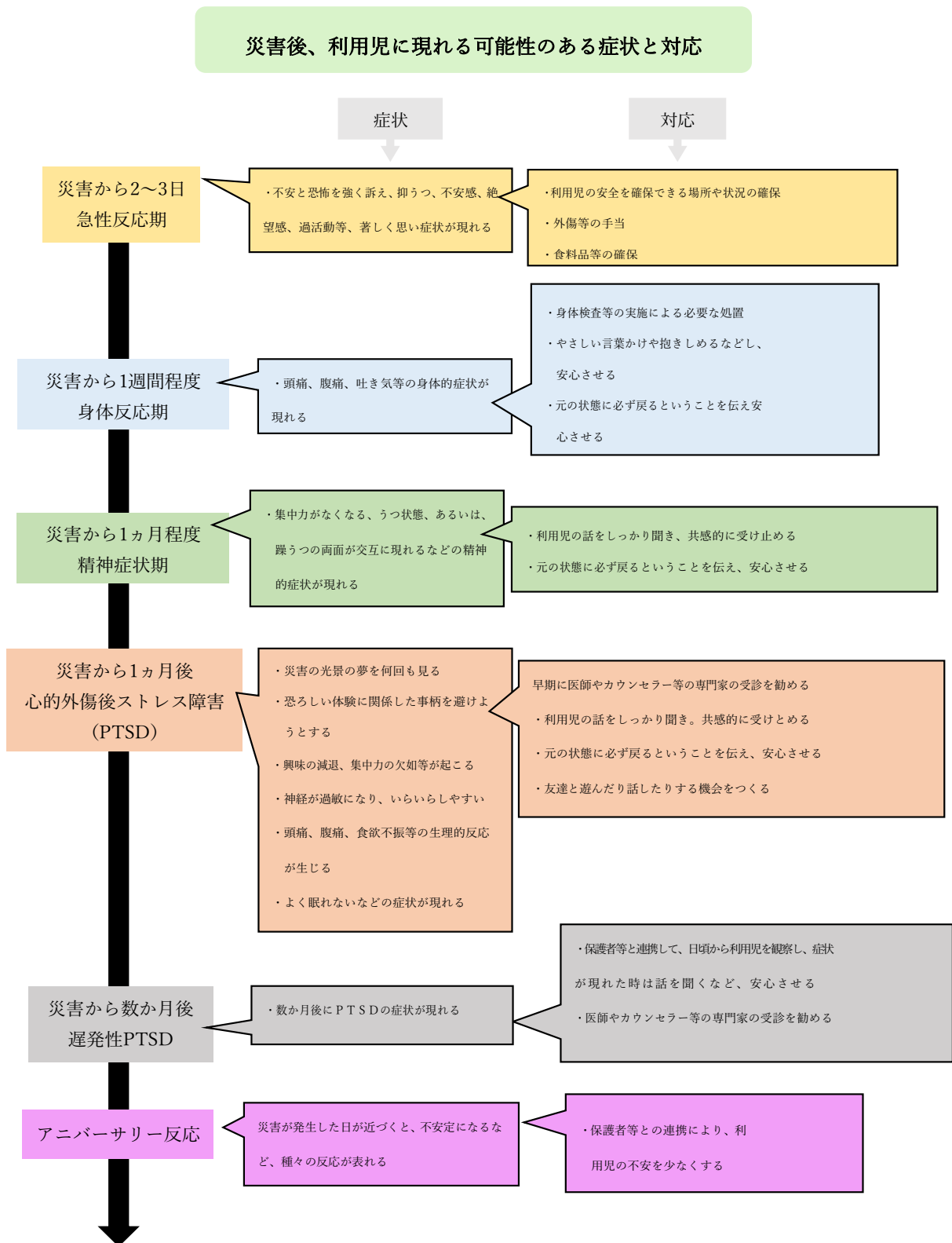
### 利用児の心のケア

災害発生に伴い、利用児に強いストレスが加わると、心身に不調を生じることがある。そのため、災害発生時直後から、早期の心のケアが必要となる。利用児に適切な支援を行うためには、専門機関や医療機関等と連携することも重要となる。

#### ◆利用児の心のケアについて



## 1 1. 利用児の心のケアについて





# 心肺蘇生法

乳児  
1歳未満

子どもの呼吸が止まり、心臓が動いていないような場合は、ためらわずとにかく心肺蘇生を行います。救急車の到着まで行うことで、子どもの命が助かる確率が格段に上がります。

**1** 意識を確認。大きな声で呼びかけ、肩を軽くたたく。

**2** 反応がない場合、119番通報とAED手配を依頼。

**3** 呼吸を確認。胸と腹の動きを10秒以内で観察する。

**4** **心臓マッサージ 30回**  
呼吸がなければ、胸の位置に指を2本置く。  
中指、薬指を立てる  
中心よりやや下

**5** 胸の厚さの1/3の深さまで、胸骨を圧迫する。  
指は立てたまま押す

1分間に少なくとも100回以上を目安に速いペースで行う

**6** 頭を反らせ、指であごの先を持ち上げて、気道を確保。  
人差し指で喉道を広げる

**7** **人工呼吸 2回**  
大人で子どもの鼻と口を覆って息を吹き込む。

1回の吹き込みにつき約1秒、2回連続して行う

**8** AEDが到着するか救急隊に引き継ぐまで、または、子どもが回復するまで「**心臓マッサージ30回、人工呼吸2回**」を続ける。

**AEDを使えますか？**  
AED（自動体外式除細動器）は、心臓の状態を判断し、自動的に電気ショックを与えて正常な状態に戻してくれる医療機器。電源を入れると音声やランプで手順を指示するので、だれでもすぐに使えます。2010年から1歳未満にも使用できるようになりました。いざというときに慌てないように、講習会などで経験しておくとう安心です。

(2012年5月現在)



# 心肺蘇生法

小児  
1歳以上

子どもの呼吸が止まり、心臓が動いていないような場合は、ためらわずとにかく心肺蘇生を行います。救急車の到着まで行うことで、子どもの命が助かる確率が格段に上がります。

- 1** 意識を確認。大きな声で呼びかけ、肩を軽くたたく。



- 2** 反応がない場合、119番通報とAED手配を依頼。



- 3** 呼吸を確認。胸と腹の動きを10秒以内で観察する。



- 4** 心臓マッサージ 30回

呼吸がなければ、ひじを伸ばし、胸の位置に片手を置く。



- 5** 胸の厚さの1/3の深さまで、胸骨を強く圧迫する。



- 6** 顔を反らせ、指であごの先を持ち上げて、気道を確保。



- 7** 人工呼吸 2回

鼻をつまみ、大人の口で口を覆って息を吹き込む。



1回の吹き込みにつき約1秒、2回連続して行う

- 8** AEDが到着するか救急隊に引継ぐまで、または、子どもが回復するまで「心臓マッサージ30回、人工呼吸2回」を続ける。



## AEDを使えますか？

AED（自動体外式除細動器）は、心臓の状態を判断し、自動的に電気ショックを与えて正常な状態に戻してくれる医療機器。電源を入れると音声やランプで手順を指示するので、だれでもすぐに使えます。2010年から1歳未満にも使用できるようになりました。いざというときに慌てないように、講習会などで経験しておくとう安心です。

(2012年5月現在)



## 救急車の呼び方



慌てず、落ち着いて119番（局番なし）に電話しましょう。

### 119番の問いかけ

火事ですか？ 救急ですか？

住所はどこですか？

電話番号は？

どんな状態ですか？

### 園の答え方

救急（火事）です

〒

TEL

だれが  
いつ  
どこで  
どうした  
状態は

## 災害用伝言ダイヤル 171

園では災害が起きたときに171をダイヤルし、**子どもの安否** **園の被害状況** **避難先**を録音します。保護者はそれを確認することができます。

### メッセージを録音する

171をダイヤル

1を押す

園の電話番号

メッセージを録音

### 保護者がメッセージを聞く

171をダイヤル

2を押す

園の電話番号

メッセージを聞く

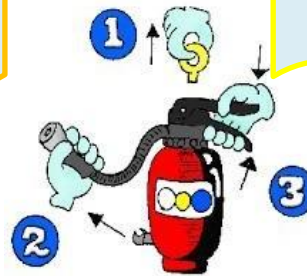


(2012年5月現在)

※171は、災害発生時に被災地で電話がつながりにくくなったときに提供される、NTTグループのサービスです。毎月1日と15日、防災週間（9月1日を含む1週間）などに体験利用できるので、確認しておくとう安心です。



AEDの使い



消火器の使い方